



いばらきダイバーシティ宣言

急速な人口減少社会の進展や少子高齢化、経済・社会のグローバル化の進行など、社会情勢は大きく変化しております。

このような中、活力があり、持続可能な地域社会をつくるためには、多様な人材の活用により、ニーズの変化や急激な環境の変化などのリスクへの対応力を高めることが重要であると考えます。

その実現のためには、年齢や性別、国籍、障がいの有無、性的指向・性自認等にかかわらず、一人ひとりが尊重され、誰もが個々の能力を発揮できる社会、多様性が受容されるダイバーシティ社会の実現が求められています。

私たちは、ダイバーシティ社会の実現に向けて次のことに取り組むことをここに宣言します。

1. 全ての患者・医療従事者の個性を認め合い、多様性を尊重するダイバーシティの精神を啓発・推進します。
2. 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを実現します。
3. 医療従事者の仕事と生活の両立を図るため、勤務環境改善に取り組む医療機関を支援するとともに、就業・復職・子育て支援を積極的に進めます。

令和3年7月2日

一般社団法人 茨城県医師会

会長 鈴木邦彦